記事で振り返るわたSHIGA輝く国スポ・障スポ

8月24日付

エアロビック・綱引など7競技

第79回国民スポーツ大会の公開競技が23日、県内で始まった。同日はエアロビックが守山市民体育館で、綱引が近江八幡市のあづちマリエートでそれぞれ開幕し、各会場が熱気に包まれた。

エアロビックAD種目のチーム部門で息の合った演技を見せる滋賀県代表の「HOLIDAY STARS」（守山市三宅町・守山民体育館）

公開競技開始 高まる熱気

公開競技は国スポの正式競技と異なり、都道府県対抗得点には含まれない。滋賀大会では2競技のほか、武術太極拳、パワーリフティング、ゲートボール、グラウンドゴルフ、バウンドテニスの計7競技を行う。

エアロビック初日はエアロダンス（AD）種目のチーム戦と個人戦が行われた。ADは高く飛び上がるハイキックやアッシュ・アップ（脚で伏せ）などの規定動作を組み込んで、好き放題に合わせて演技し、出来栄えや芸術性を競う。全国から23チームと個人93人が参加した。

個人のシニア女子II部門に登場した河村姫美さん

個人のシニア女子II部門には50歳以上部門に出場した昨年の佐賀大会で2位に入った滋賀県代表の河村姫美さん（54）＝草津市＝が登場。セリヌ・ディオンの名曲「ドゥ・ラブ・ユー・セット」のアレンジに乗せた演技で見事に優勝を飾った。「持病のある股関節の調子が良く戦が行われた。ADは高く飛び上がるハイキックやアッシュ・アップ（脚で伏せ）などの規定動作を組み込んで、好き放題に合わせて演技した。地元の観客に初めていいところを見せられたと思う。宮野は『今後の競技に追い風を吹かせたい』と話した。

ビーチバレーボールは決勝が行われ、少年女子で京都の橘柚希（福知山成美高）・井上歩美（京都橘高）組が、福島を2―0で破って優勝した。

9月10日付

トランポリン男子で優勝し、笑顔を見せる滋賀の宮野（9日午後3時24分、大津市・滋賀ダイハツアリーナ）＝撮影・吉原直歩

宮野、県勢初V トランポリン男子

第79回国民スポーツ大会は9日、大津市の滋賀ダイハツアリーナなどで3競技が行われ、体操のトランポリン男子で滋賀の宮野隼人（滋賀県スポーツ協会）が優勝した。他競技を含め、今大会で県勢初優勝となった。

（15、18、19面に関連記事）

宮野は予選を2位通過。決勝では、高い跳躍から空中で華麗な回転技を次々と決め、高得点を挙げた。トランポリン種目としても県勢初優勝となった。表彰式では琵琶湖の形がくりぬかれた金メダルが授与された。県勢のメダル第1号となり、宮野は「今後の競技に追い風を吹かせたいと思って演技した。うれしい気持ちでいっぱい」と話した。

ビーチバレーボールは決勝が行われ、少年女子で京都の橘柚希（福知山成美高）・井上歩美（京都橘高）組が、福島を2―0で破って優勝した。（辻孝典）

9月29日付

琵琶湖ブルー 会場染め上げ

滋賀国スポ 総合開会式

観客がはためかすタオルやジャンプの衣装を水色に染まる琵琶湖ムードに包まれたAHOスタジアム＝28日、彦根市・撮影・玉井達太

おもてなし演技 生き生き

大会の幕開けを盛り上げるかのように、半袖姿の人たちがところ狭しと踊りだす。琵琶湖ブルーに染まったAHOスタジアム（彦根市）で行われた第79回国民スポーツ大会の総合開会式。滋賀のシンボルである琵琶湖を模した「琵琶湖ブルー」に染まった、スタジアムのグラウンドには「琵琶湖ブルー」に染まった、ローイング（ボート）を模した演技が次々とスタートした。琵琶湖の水面のようなブルーの衣装を着た、滋賀県代表の選手たちが、ローイングの動きを模した演技を繰り広げる。

琵琶湖の水面を模したブルーの衣装を着た、滋賀県代表の選手たちが、ローイングの動きを模した演技を繰り広げる。

「琵琶湖ブルー」に染まったAHOスタジアムに、「琵琶湖ブルー」に染まった、ローイング（ボート）を模した演技が次々とスタートした。琵琶湖の水面のようなブルーの衣装を着た、滋賀県代表の選手たちが、ローイングの動きを模した演技を繰り広げる。

琵琶湖ブルーに